



大阪部会(第 23 回)

日 時: 2011 年 5 月 14 日(土) 18:00~20:00

場 所: 同志社大学 大阪サテライト

【内容要旨】

第 23 回の大阪部会は 18 名の参加者であった。

- (1) まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表から、「先生のための夏休み経済教室」(東京証券取引所との共催、日本銀行との提携)の開催日程、内容、分担等が報告された。例年実施している名古屋(中高あわせて二日間)、大阪(二日間)、東京(中学、高校それぞれに二日間ずつ)に加え、福岡(二日間)でも開かれる。また、同時期に札幌で、日本銀行や地元金融機関の協力をえて、金融経済教育に関するワークショップも開催されることになった。
- (2) 今夏の経済教室の新しい試みとして、地理・歴史のなかの経済教育について考える時間がもうけられている。暗記科目としてとらえられがちな社会科を、経済論理で理解していくことの有効性が検討される予定である。
- (3) 次に、経済教育ネットワークによる検定外教科書作成のアイデアが紹介された。資金的裏付けのためにトヨタ財団への補助を申請中である。
- (4) その他、読売新聞社と協力して新聞記事を中高授業に活かすためのサポートの仕方(時事問題解説など)や、清水書院との提携による電子教材の作成について意見交換した。
- (5) 東京の本郷中学校で使われた「じゃんけんゲーム」による「囚人のジレンマ」の学習教材とその成果が紹介された。冷戦や紛争など国際社会の構図をとらえることに応用されており、興味深い教材として多くの意見が出された。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2011 年 7 月 2 日(土)18:00~20:00 同志社大学大阪サテライト